

伊賀市新庁舎 オープン!

1月4日(金) 開庁

市民サービスの一層の向上、市民の安全安心な暮らしを支える防災拠点となる庁舎をめざして、平成29年から工事を進めていた市役所の新庁舎が完成し、1月4日金から業務を開始します。

◆概要

所在地	伊賀市四十九町3184番地	階数	地上5階
延べ面積	14,288.7㎡	工期	平成29年3月～平成30年11月
構造	鉄骨造(免震構造)	建設費	5,137,595,640円



◆新庁舎の特徴

①伊賀らしい庁舎

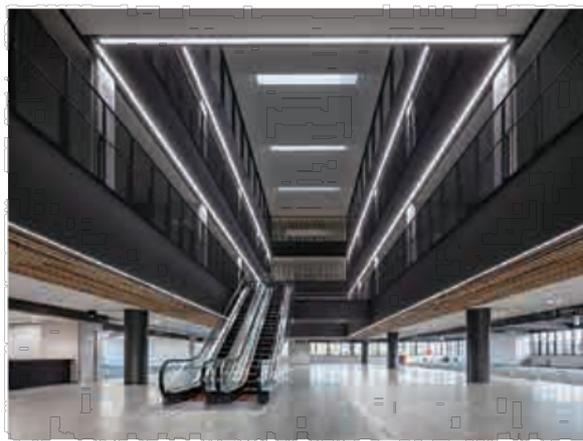
大屋根や深い庇、城下町を連想させる黒を基調とした外観など、伊賀らしさを表現した庁舎としました。

②利用しやすい分かりやすい庁舎

1階から4階まで吹き抜けを設け、来庁者が庁舎内を一望できる、配置が分かりやすい庁舎です。また市民利用の多い窓口を1、2階に集約しています。

③防災指令機能を維持する庁舎

地震による建物被害を最小限にするため、免震構造を採用しました。また、万が一ファイラインが途絶えても、自家発電機による電力供給や水備蓄なども備え、災害復旧活動が継続できる庁舎としています。



◆その他の特徴

○エレベーター・エスカレーター

3基のエレベーターを設置しました。窓口を集約した1・2階にはエスカレーターを設置しました。



○市民スペース

1階エントランスに市民スペースを設けました。休憩コーナーや市民ギャラリーなどにご利用いただけます。

○相談カウンター

相談者のプライバシーに配慮し、カウンターの間仕切りや個室の相談室を設けました。



○地元産木材を使用

1階エントランスの天井や吹き抜け周りなどに、みえ森と緑の県民税を活用して伊賀市産木材を使用しました。



○芭蕉さんの真筆を用いた看板

庁舎北側と南側駐車場入口に松尾芭蕉の書簡より転載した文字を使った「伊賀市」の看板を設置し、芭蕉の地をアピールします。



○みんなのトイレ・ベビー休憩室

だれもが使用しやすいように、多目的ボード、子ども用便器、オストメイト対応流しなどを設置しています。1階にはベビー休憩室もあります。

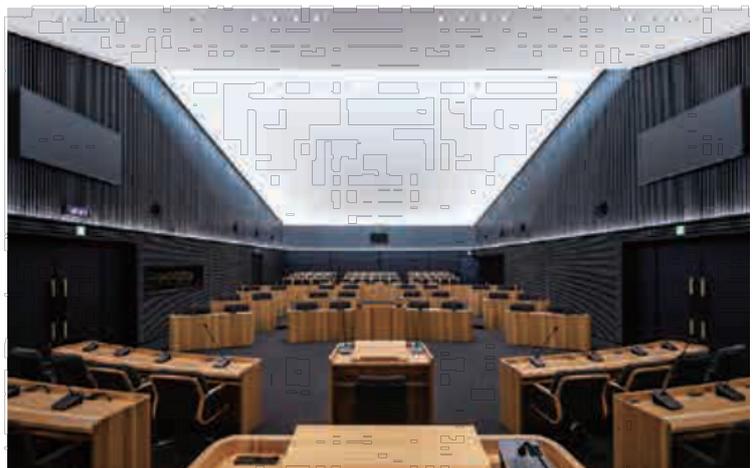


○議場

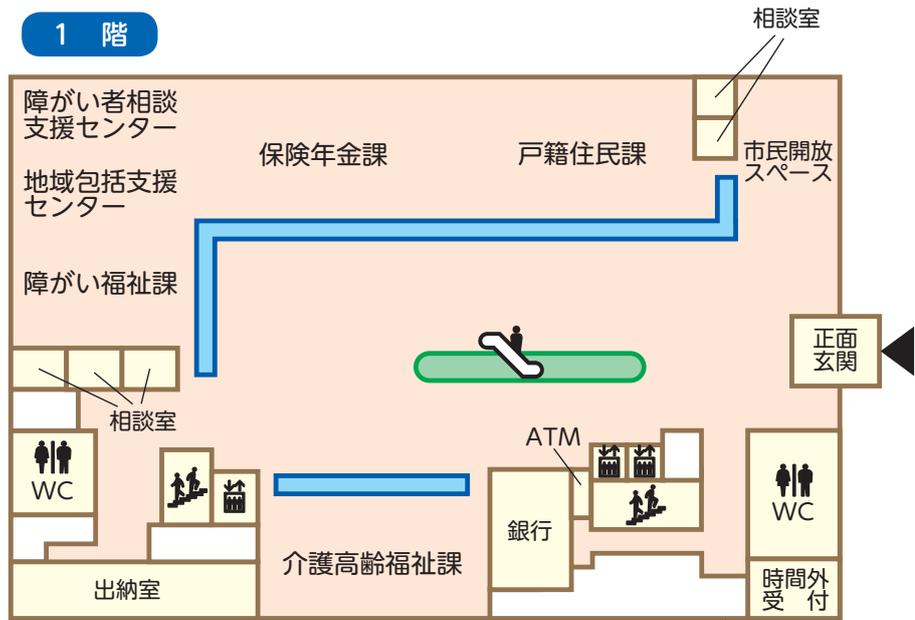
内装に伊賀市産木材を使用しています。傍聴席は50席設けています。

○待合番号表示システム

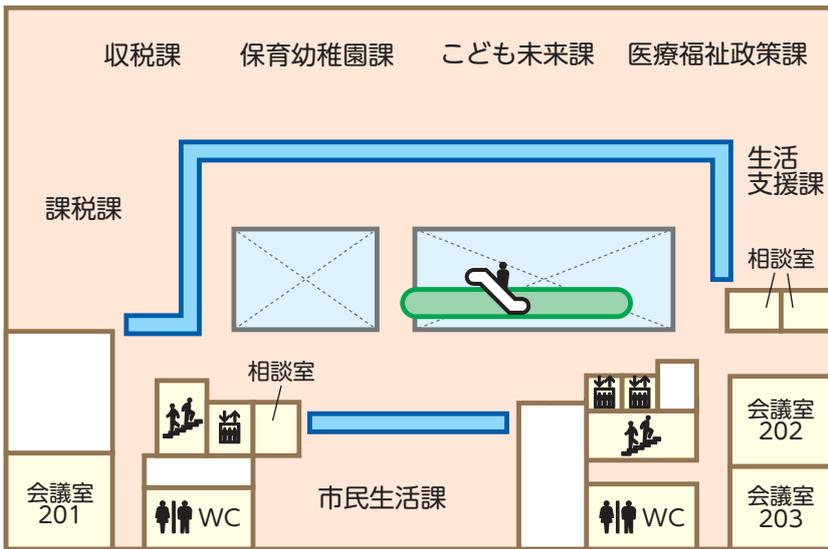
戸籍住民課と保険年金課の窓口に来庁する人の混雑を緩和するため、待合番号の発券機を設置しました。待ち人数をスマートフォンやパソコンから確認できますので、事前に混雑状況を確認のうえ市役所にお越しいただけます。



1 階



2 階



3 階

